

嶺小学校 適正規模地区委員会だより

嶺小学校適正規模地区委員会

平成23年3月1日 No. 4

第4回「嶺小学校適正規模地区委員会」を開催しました

第4回嶺小学校適正規模地区委員会を2月4日に嶺小学校で開催いたしました。今回の委員会では、新委員の紹介とともに、地域の団体を中心に話し合いを実施した結果を持ち寄り、報告を行いました。さらに、その報告をもとに、嶺小学校を存続した場合のメリット・デメリットについて協議しました。委員会での報告、協議の概要は下記のとおりです。

記

1 関係団体の役員改選に伴う新委員の紹介（敬称略）

- ・池田輝雄（嶺町民生委員児童委員）
- ・田中節子（同上）

なお新委員には、新旧の引継ぎとして今回の委員会から参加していただいた。

2 各団体での話し合いの報告の主な内容

- ・嶺町自治会では、5地域の組長にお願ひし、地域ごとに話し合いを持った。地域からの報告では、「嶺小が折角あるのだから存続させたい」という意見が多い。また「嶺小を廃止するならいつでも廃止できるのだから、限界まで存続してほしい」との声もある。その一方で「統合を進めたほうがよい」との意見も一部であった。概ね意見の70パーセントぐらいは嶺小学校の存続希望である。
- ・金丸町自治会では、「統合やむなし。ただし条件付で」という声があった。自治会全体としての意見は聞いていない。
- ・金丸町長寿会からは、話し合いの形式ではなかったが「統合やむなし」との声があった。
- ・PTAでは、11月25日に保護者会（嶺小23世帯中16世帯出席）を開催し、現在抱えている思いや疑問などの意見を出していただき、報告資料にまとめた。主な内容は次のとおりである。
 - 統合か存続か、保護者としては大変不安である。
 - 統合、存続のメリット・デメリットなどの多くの情報がほしい。
 - 地域の若い世代の人たちの意見を聞く機会があるといいのではないか。
 - 住宅を増やし子どもが増えるよう、市街化調整区域の解除をしてほしい。
 - 芳賀小との交流の場を多く作り、社会性をつける中、存続の可能性を見つきたい。（なお、保護者会がまとめた資料については、各地区委員がお持ちですのでお尋ねください。）
- ・新入生保護者としては、話し合いはしていないが、PTAとほぼ同じ意見である。

3 協議で出された主な意見

- ・嶺、金丸は良い所であることをアピールするとともに、住宅を増やせるような制度変更の働きかけをし、児童数を増やしていきたい。
- ・不便さを解消するため、路線バスやスクールバスの運行の要望を検討し、児童数を増やしていきたい。
- ・嶺小に「学童」（学童保育所）を設置し、共働き世帯の支援ができる環境をつくりたい。
- ・児童数が少ない中で、いろいろな体験ができるメリットは大きい。
- ・少人数のよさをメリットとしてとらえ、学校に協力していきたい。
- ・地域にとって学校とは何かを考えたい。学校があるからこそ地域としてのつながりができている。
- ・このような話し合いを時間をかけて積み重ねていくことが大事である。

「地区委員会だより」は後日、前橋市教育委員会のホームページ上に掲載いたします

(<http://www.city.maebashi.gunma.jp/kbn/15400073/15400073.html>)

問い合わせ先：前橋市教育委員会学校教育課教育企画係 電話：898-5865(ダイヤルイン) FAX:221-3418